

NDBオープンデータによる 全国・都道府県別胃瘻造設に関する調査

2018年12月

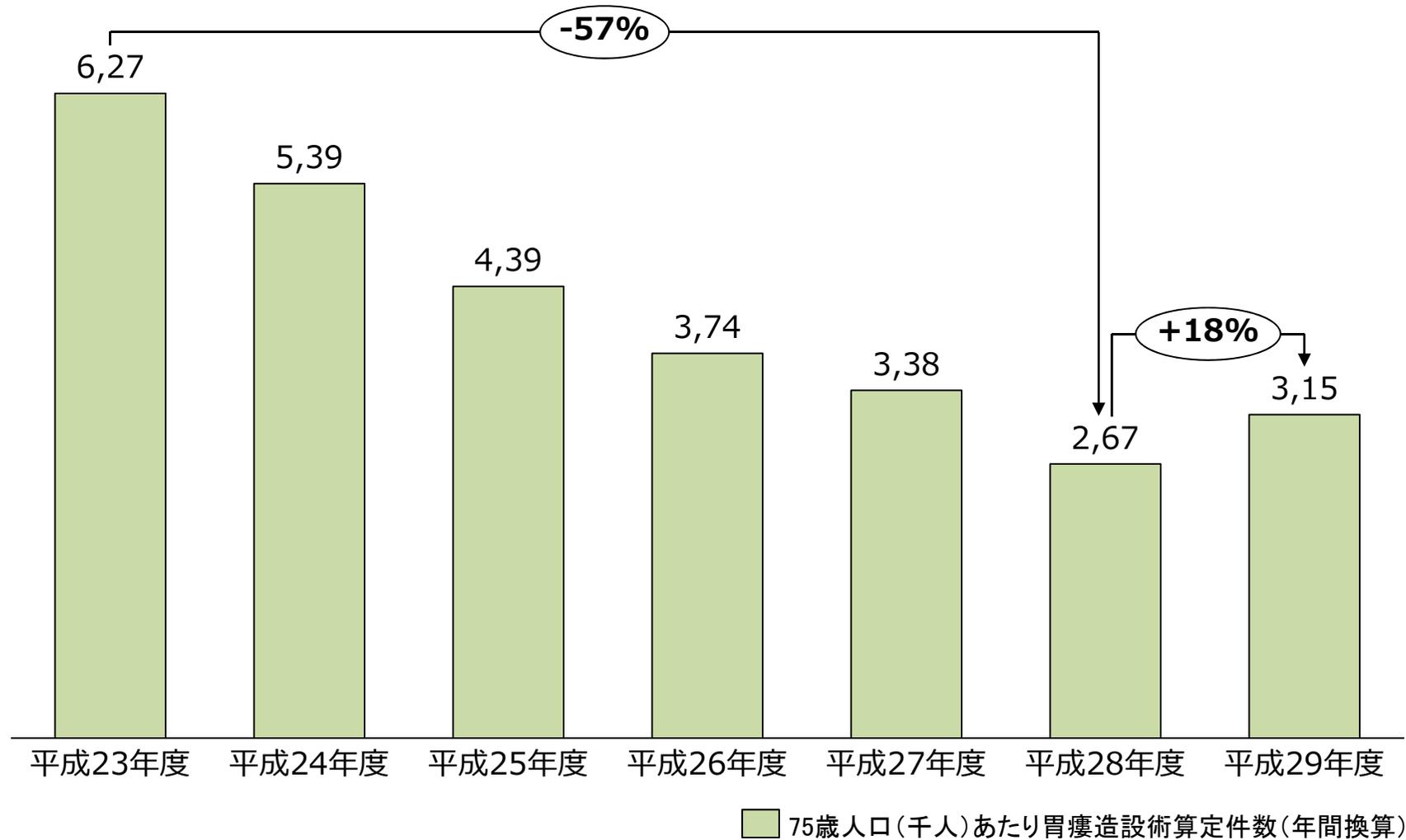
株式会社メディヴァ

久富護

本調査のサマリー

- ① 本調査は胃瘻の造設数が徐々に減少しているのではないかと、また地域ごとに胃瘻造設数に特徴があるのではないかとという仮説をもとに、NDBデータおよび社会医療診療行為別統計の中で胃瘻造設術の75歳以上の人口あたり算定状況を全国年次推移と都道府県別で調べたものである。
- ② まず、全国での算定件数年次推移をみると、平成23年と比較し、平成29年では造設数は約半数になっている（ただし、平成28年と平成29年を比較すると造設数は微増）。これらから栄養経路としての胃瘻への考え方は、徐々に変化しており、特に人生の最終段階を迎えた高齢者に対する考え方（胃瘻を造設するか、否か）はこの数年で大きく変わった可能性があることが示唆された。
- ③ 都道府県別での算定件数をみると、沖縄県が最も人口あたりの造設数が多く、静岡県が最も少なくなっており、栄養経路として胃瘻を造設する／しないへの考え方は、地域ごとに特徴があることが示唆された。

75歳以上人口千人あたり胃瘻造設術算定件数（全国・年）



都道府県別75歳以上千人あたり胃瘻造設術算定件数

